

事業の基礎情報

実施主体	秋田県大館市
事業実施地域	大館市中心部
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	福祉 ・ 子育て ・ 教育 ・ 商業 ・ 金融 ・ 観光 ・ まちづくり
共創パートナー	秋北タクシー株式会社、CommunityMobility株式会社、株式会社伊徳、一般社団法人秋田犬ツーリズム、大館市社会福祉協議会、福島大学ほか（別添協議会名簿参照）
運行形態	AIオンデマンド交通
運行主体	秋北タクシー株式会社

取組の概要

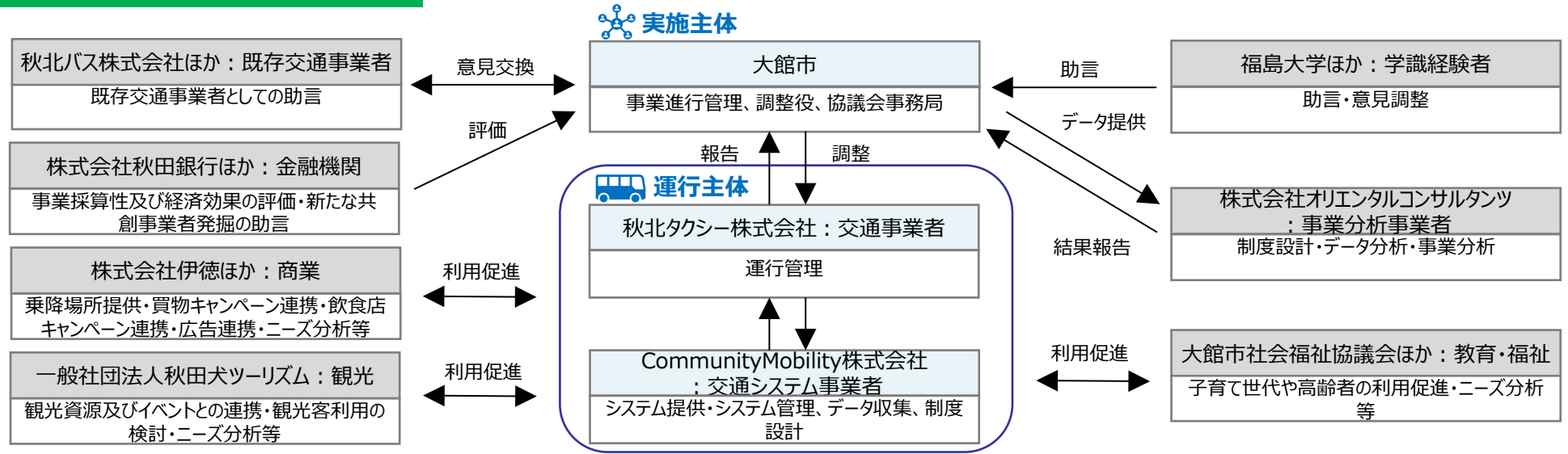
（現状の地域課題と事業目的）

本市の高齢化率は40.1%（R6.1月末）と非常に高く、免許返納者や買物難民への対応が求められており、同時に、共働きの子育て世代の送迎需要や交通空白地域解消の施策も必要となっている。AIオンデマンド交通を導入することで、前述の課題を解決するだけでなく、新たな移動ニーズを発掘することで市内の移動総量の増加を図り、地域経済の活性化や既存交通を含む交通サービス全体の利便性を向上させ、持続可能な交通サービスを提供することを目的としている。

（事業の概要）

行政と交通事業者だけでなく、商業・観光・福祉・教育等あらゆる分野と連携・協働し、市中心部において低額乗り放題のAIオンデマンド交通「mobi」を活用した交通サービスを提供する。本事業は令和4年10月より実施しているが、定額プラン乗り放題プランにより外出しやすくなり、市民の通勤・通学・通院や買い物に多く使われている。商業施設、子育て・教育、福祉分野と連携し、キャンペーン等により利用促進を図るほか、金融機関や学識経験者、コンサルの評価を基に課題を発見・解消していく。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

交通事業者間の連携により、鉄道・バス・タクシー・mobiそれぞれの強みを活かした交通網を形成し、市民や観光客の利便性を向上させる。商業施設や温泉施設、観光施設との連携では、キャンペーンの実施による双方の利用促進のほか、外出機会の増加や経済活動の活性化を図る。教育・福祉分野との連携では、子育て世代や高齢者への周知により通学や通院時の家族送迎の負担を減らすだけでなく、シニア向けにmobi利用説明会とスマホ教室をセット開催することによりデジタルデバйд解消を図る。また、事前予約制の導入や増車など、サービス改善に関する検証を実施する。

(実証事業により見込まれる効果)

mobi導入により、市中心部においてバス停から300m以上離れた公共交通空白が解消される。令和5年度に実施したmobi利用者アンケートでは、外出回数が増えたと回答した方が60%、買い物の量が増えたと回答した方が56%と、外出機会の創出や地域経済の活性化に繋がっている。また、徒歩や自転車、自家用車で移動している方の利用が多く、新たなニーズ発掘のほか、渋滞解消やCO2削減にも期待できる。そのほか、他分野との共創や広告の活用により収入が安定し、持続可能な交通サービスが提供可能となる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

項目	令和6年度													主体
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1. 実証事業の実施														大館市/交通事業者/交通システム事業者
														大館市/交通事業者/交通システム事業者/商業事業者/観光事業者/教育・福祉事業者
2. データ収集（運行データ・アンケート調査等）														大館市/交通事業者/交通システム事業者/既存交通事業者/事業分析事業者
3. データ分析														大館市/交通事業者/交通システム事業者/既存交通事業者/事業分析事業者/金融機関
4. 実績報告														大館市

(補助事業実施後の予定)

持続可能な移動サービスを提供するためには収支率の改善が必要不可欠であることから、支出額の低減に努めるだけでなく、収入を安定させるため、サービスレベルに見合った料金設定を検討する。また、令和5年度に実施した市民アンケートでは、mobiをすぐにでも、あるいは将来的に利用する可能性があるかと回答した方が87.8%と、非常に高い潜在需要が眠っていることから、プロモーション活動を継続し、利用者の拡大に努める。そのほか、法人契約による運賃収入の安定化や車体ステッカー・車内サインエージ活用による広告収入、共創連携による協賛金等の運賃外収入により収入の増加を図る。資金不足が発生した場合市の補助により補填し、ふるさと応援寄附基金より繰入する。